



NEWS RELEASE

K&K 国分株式会社

お問い合わせ先／経営企画部

〒103-8241 東京都中央区日本橋1-1-1

TEL 03-3276-4121 FAX 03-3273-7305

報道関係者各位

2012年3月2日 NO. 7

国分株式会社

平成23年度の経営結果と平成24年度の経営方針

【I】平成23年度の経営環境と経営動向の回顧

1. 平成23年度の経営環境と経営動向の回顧

昨年の我が国経済は、3月の東日本大震災やそれに端を発した原発問題、更に米国や欧州の経済問題、歴史的な円高、世界各地での大規模自然災害などが次々と起こり、先行き不透明な厳しい状況におかれましました。

流通業界におきましては、大震災にてライフラインの一翼を担う責任の重大さとサプライチェーン協働体制の重要性を再認識しました。また、生活スタイルは、節電や自己防衛意識の高まりから大きな変化が表れ、価値観の多様化が加速度的に進んでいます。

食品酒類業界では、消費者行動の多様化がより顕在化し、ネット販売や宅配機能ニーズが高まるなど社会的要請や環境変化への対応を求められています。

卸業界では、広がらない国内市場で、規模と機能を獲得するための本格的な生存競争に突入しています。

このような経営環境下にあって、国分グループは「既存事業のさらなる強化」と「新たな分野への積極的なチャレンジ」を基本路線とした第9次長期経営計画「QUALITY300」をスタートさせました。

「小商い」の視点で「商品開発力・育成力の強化」「低温・菓子・フードサービス事業の強化徹底」「生鮮カテゴリへの取組み拡大」「新規事業への展開」を推進し、磐石な経営基盤を構築すべく活動して参りました。

さて、当社の連結業績であります、売上高は1兆4,713億84百万円、前年比102.1%となりました。売上高の内訳は、食品が7,414億11百万円、前年比103.3%、酒類が6,461億32百万円、前年比100.7%、その他が838億40百万円、前年比103.1%となりました。

経常利益につきましては、128億16百万円、前年比98.5%、当期純利益は56億71百万円、前年比71.6%となりました。

2. グループ総合力の強化

- ・純粋持株会社国分ホールディングス(株) [東京都中央区] を設立 (1月)
- ・神奈川支社と東京国分(株) [東京都江戸川区] 並びに廣屋国分(株) [東京都中央区] の神奈川エリアの事業を統合し、神奈川国分(株) [神奈川県相模原市] が営業を開始 (1月)
- ・関西国分(株) [大阪府大阪市] と京都国分(株) [京都府京都市] を統合 (1月)
- ・トラストフーズ(株) [岡山県岡山市] と旭食品工業(株) [静岡県駿東郡] を統合、旭トラストフーズ(株) [岡山県岡山市] としてスタート (1月)
- ・廣屋国分(株) [東京都中央区] の冷食事業を(株)サンライズ [東京都港区] に統合 (1月)
- ・国内最大手の青果物卸売会社、東京青果(株) [東京都大田区] と業務提携 (1月)
- ・百瀬国分(株) [東京都江東区] に首都圏の菓子卸売事業を統合 (3月)
- ・国分北海道ビル [北海道札幌市] が完成、北海道支社ならびにシュレン国分(株) [北海道札幌市]、デリー物産(株) [北海道札幌市] が入居し営業開始 (3月)
- ・北海道支社の業務用酒販店への酒類食品卸売事業をシュレン国分(株) [北海道札幌市] に統合 (10月)

3. 物流関連

- ・(株)スーパーマーケットマルイチ [岩手県盛岡市] の加食・温度帯におけるTC業務を東北国分(株) [宮城県仙台市] がマルイチ盛岡物流センター [岩手県盛岡市] にて受託 (1月)
- ・(株)ビー・アンド・ディー [愛知県春日井市] のチルドTC業務を、三重国分(株) [三重県伊勢市] がB&D弥富チルドセンター [愛知県弥富市] にて受託 (3月)
- ・首都圏大型汎用物流拠点となる三郷流通センター [埼玉県三郷市] を着工 (3月)
- ・生活協同組合コープこうべ [兵庫県神戸市] より鳴尾浜配送センター [兵庫県西宮市] の運営業務を受託 (5月)
- ・(株)ニッкок商事 [千葉県浦安市] よりセンター運営業務をニッкок浦安センター [千葉県浦安市] にて受託 (6月)
- ・(株)伊徳 [秋田県大館市] 向け専用TCセンター業務を東北国分(株) [宮城県仙台市] がいとく大館物流センター [秋田県大館市] にて受託 (8月)
- ・(株)阪急キッチンエール東京 [大阪府大阪市] の宅配サービス事業におけるセンター運営業務を船橋日の出センター [千葉県船橋市] にて受託 (10月)

4. 情報関連

- ・第9次長期経営計画に基づく低温物流システムを構築、関東国分(株) [栃木県小山市] 行田低温センター [埼玉県行田市] にて稼働 (11月)
- ・フードサービス事業向け営業ツール「業務用KOMPASS」の商品検索機能を構築 (12月)

5. 海外関連

- ・三通国分商貿(青島)有限公司 [中華人民共和国山東省] が、中国華南エリアに深圳分公司を設立 (7月)
- ・「第1回 日本食品飲料展 in 上海」に出展 (11月)

6. 300周年事業 他

- ・記念ロゴ・スローガンを策定 (6月)
- ・You Fun Wine (夕飯ワイン) 消費者向け感謝キャンペーンを実施 (7～11月)
- ・国分セレクトショップ「ROJI日本橋」[東京都中央区]を本社ビル1階にオープン (8月)
- ・記念キャンペーンとして料理レシピサイト「クックパッド」にて「K&Kフルーツ缶詰」を対象とする「ふるぱん」レシピを募集 (10月)
- ・国分オフィシャルショップ「問屋国分」を東京スカイツリータウン®内商業施設「東京ソラマチ®」[東京都墨田区]東街区5階にて着工 (10月)
- ・食品の新ブランド「t a b e t e」を発表 (12月)
- ・長崎国分(株)[長崎県長崎市]が国内初のエコドライブでのCO₂排出削減によるクレジット認証を取得 (9月)

【II】平成24年度の経営方針

本年度の日本経済は、震災復興、財政再建、円高、TPP、エネルギー対策など課題が山積する中、長引く消費不況からの脱却は再び不透明感を増しています。

また、流通業界は激動の変革期という流れの中にあって、自己革新力を発揮していかないと生き残れない時代となりました。

このような環境下にあって、当社は創業300周年を迎えました。国分ブランドの向上を図るべく、各種記念事業の展開と、2年目となる第9次長期経営計画「QUALITY300」で掲げた諸計画を確実に実践し、将来像を見据えた磐石な経営基盤の確立を目指して参ります。

本年も社是である「信用」と行動憲章の「平成の帳目」を国分グループ不変の哲学とし、「小商い」の姿勢ですべての顧客へ丁寧で高品質な機能を発揮し、次の100年に向かって企業活動を進めて参ります。

〔Ⅲ〕 連結業績

【 連結損益計算書の要旨 】

(自平成23年1月1日 至平成23年12月31日) (単位:百万円)

科 目	金 額	売上比	前年比
売 上 高	1,471,384	-	102.1%
(食 品)	741,411	(50.4%)	103.3%
(酒 類)	646,132	(43.9%)	100.7%
(そ の 他)	83,840	(5.7%)	103.1%
売上総利益	118,448	8.05%	99.8%
販売費及び一般管理費	106,807	7.26%	100.0%
営業利益	11,640	0.79%	98.4%
経常利益	12,816	0.87%	98.5%
当期純利益	5,671	0.39%	71.6%

【 連結貸借対照表の要旨 】

(平成23年12月31日 現在) (単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	447,226	流動負債	422,192
現金及び預金	30,756	支払手形及び買掛金	381,345
受取手形及び売掛金	247,101	短期借入金	14,934
譲渡性預金	49,000	繰延税金負債	0
有価証券	15,500	その他	25,911
たな卸資産	34,174	固定負債	18,250
繰延税金資産	1,104	長期借入金	20
未収収益	49,922	繰延税金負債	4,898
その他	20,883	退職給付引当金	5,191
貸倒引当金	△ 1,216	その他	8,140
固定資産	84,540	負債合計	440,443
有形固定資産	48,600	純 資 産 の 部	
無形固定資産	3,311	株主資本	86,309
投資その他の資産	32,628	資本金	3,500
投資有価証券	26,651	資本剰余金	5
繰延税金資産	885	利益剰余金	82,803
その他	5,798	評価・換算差額等	2,574
貸倒引当金	△ 706	少数株主持分	2,439
資産合計	531,767	純 資 産 合 計	91,323
		負債及び純資産合計	531,767

【 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 】

(自平成23年1月1日 至平成23年12月31日) (単位:百万円)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 の期末残高
平成23年12月期	12,025	△ 7,743	△ 2,022	79,666

【 販売の状況 】

(1) 部門別売上高明細表

(自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日) (単位:百万円)

部 門	売上高	構成比	前年比
加工食品	558,077	37.9%	101.3%
冷凍・チルド	140,450	9.5%	106.2%
菓子	42,883	2.9%	124.1%
食品合計	741,411	50.4%	103.3%
酒 類	285,996	19.4%	103.5%
麦 酒	218,654	14.9%	99.1%
ビアテイスト(麦酒除く)	141,482	9.6%	97.6%
酒類合計	646,132	43.9%	100.7%
その他合計	83,840	5.7%	103.1%
合 計	1,471,384	100.0%	102.1%

(2) 酒類の種級別売上高明細表

(自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日) (単位:百万円)

種 級	売上高	構成比	前年比
清 酒	60,973	9.4%	99.3%
焼 酎	89,520	13.9%	97.4%
ワイン類	30,559	4.7%	106.4%
ウイスキー類	26,855	4.2%	104.4%
リキュール・スピリッツ他	78,086	12.1%	113.9%
酒 類	285,996	44.3%	103.5%
麦 酒	218,654	33.8%	99.1%
ビアテイスト(麦酒除く)	141,482	21.9%	97.6%
合 計	646,132	100.0%	100.7%

【 連結範囲及び持分法の適用に関する事項 】

連結子会社 50社
持分法適用会社 8社

〔IV〕 単体業績

【 単体損益計算書の要旨 】

(自 平成23年1月1日 至 平成23年12月31日)

(単位:百万円)

科 目	金 額	売上比	前年比
売 上 高	1,349,008	-	100.2%
(食 品)	706,249	(52.4%)	101.9%
(酒 類)	578,490	(42.9%)	98.3%
(そ の 他)	64,268	(4.8%)	99.4%
営 業 利 益	7,597	0.56%	99.4%
経 常 利 益	8,514	0.63%	100.7%
当 期 純 利 益	3,151	0.23%	65.0%

【 単体貸借対照表の要旨 】

(平成23年12月31日 現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	451,960	流動負債	440,159
現金及び預金	26,230	買掛金	379,167
受取手形及び売掛金	297,182	短期借入金	14,122
譲渡性預金	49,000	その他	46,870
有価証券	15,500		
商品	14,317	固定負債	10,258
未収収益	28,450	繰延税金負債	4,123
繰延税金資産	529	退職給付引当金	1,532
その他	21,553	その他	4,602
貸倒引当金	△ 804		
		負債合計	450,418
固定資産	73,211	純 資 産 の 部	
有形固定資産	31,238	株主資本	72,473
無形固定資産	2,807	資本金	3,500
投資その他の資産	39,166	資本剰余金	5
投資有価証券	24,794	利益剰余金	68,967
関係会社株式	11,374		
その他	3,149	評価・換算差額等	2,279
貸倒引当金	△ 152	純 資 産 合 計	74,753
資 産 合 計	525,171	負債 及び 純資産合計	525,171